

地域母子保健福祉情報紙 No.261

公益社団法人 母子保健推進会議

親子保健

お や こ ほ け ん

定款第 1 章第 3 条 目的 (抜粋)
国及び地方自治体
関係諸団体と連携協力して
母子保健の重要性を啓発し
母性の健康を守り たかめ
心身ともに健全な児童の
出生と育成に寄与してまいります

「平成30年度 健やか親子21全国大会」開かれる



全国大会式典で挨拶する本会議佐藤拓代会長

平成30年11月7日(水)～9日(金)、三重県総合文化センター(三重県津市)を会場に、「平成30年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」を開催した(主催:厚生労働省・三重県・津市・恩賜財団母子愛育会・日本家族計画協会・母子保健推進会議)。今年度の大会テーマは『母から子へ～常若(とこわか)に輝く社会をめざして～』とされ、全国から医師、保健師、助産師、母子保健推進員等地域組織の方等、3日間で延べ母子保健関係者1,700名が参加した。

8日(木)午後の式典では、三重県知事を

はじめとする主催6団体の代表のあいさつに続き、功労者表彰が行なわれた。今年度、母子保健推進会議会長表彰の栄に浴された5団体58人に対しては、本会議佐藤拓代会長より表彰状と記念品が授与された。

専門性を生かし合い社会で子育てを

式典に続く特別講演では、りんくう総合医療センター産婦人科部長で、漫画・ドラマ「コウノドリ」の主人公のモデルとなった荻田和秀先生が、『奇跡のすぐそばにいるということ』をテーマに講演、最近の

妊娠・出産を取り巻く問題(先天性風疹症候群・早産と低出生体重児・出生前診断・未受診妊婦と駆け込み出産等)やその社会的背景について、さらに、オキシトシンの性質と作用についても解説、最後に、周産期科医をハブとして社会で子育てをと結んだ。

3日目の9日(金)には、「お母さんの心と体、みんなで支えよに!～産前・産後における切れ目のない支援をめざして～」をテーマにシンポジウムが行われた。「周産期メンタルヘルスの現状と今日的課題」について基調講演を行った、三重大学名誉教授で精神科医の岡野禎治氏を座長に、母子の健やかな育

ちのために活動するNPO法人MCサポートセンターみっくみえ代表松岡典子氏、鈴鹿市健康づくり課宮崎明子氏、産婦人科医のヤナセクリニック院長柳瀬幸子氏、行政と住民のパイプ役として母子に寄り添う津市母子保健推進員井澤淑

子氏、落合小児科医院院長の落合仁氏が、それぞれの専門性、強みを生かしつつ、関係機関が一丸となって地域で切れ目なく母子を支える取り組みを紹介した。

平成31年度「健やか親子21全国大会」は11月7日・8日、千葉市民会館で開催する。



今月のページ

- 「平成30年度 健やか親子21全国大会」開かれる 1
- 妊娠期から切れ目なく母子を支えるために「母子保健関係者全国集会」開く 2～4
- 「母子手帳70周年記念シンポジウム」ひらかれる／「全国歯科保健大会」開かれる～栃木県 5
- 紙上セミナー：8020の里づくり「下顎の発育についてお話しします」 6～7
- 優れたもの「母子保健推進手帳」ほか／調査研究事業へのご協力をお願い／編集帖 8